



# いい顔いい声いい心

2025・7・18（金）

VOL.10

文責：校長 野田浩司



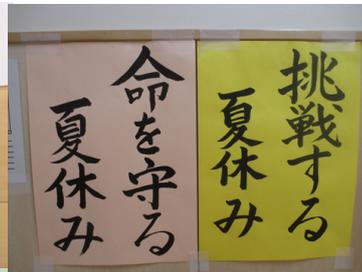
## 1 学期を終えて

1学期が無事に終了しました。授業や行事、学級や学年での様々な取組を通して、子供たち一人一人が大きく成長してくれたことを、心から嬉しく思います。

私が毎朝、校門で行っている「あいさつ運動」でも数多くの成長ドラマを目にしました。最初は登校をためらっていた子が、少しずつ自分で一歩を踏み出せるようになったり、小さな声しか出せなかった子が、学期末には笑顔で元気なあいさつができるようになったり、私の横をだまって通り過ぎるだけだった子が、自分から話しかけてくれるようになったりした時は、じんわりと胸が熱くなりました。

教育には時間がかかりますが、子供たちは私たち大人が投げかける言葉や思いを、その子なりにしっかりと受け止めて成長してくれます。この姿はまさに、「涵養」（かんよう：大地にじわじわと水が染みこむように、徐々に養い育てる）という言葉がぴったりです。今後も焦らずじっくり子供たちと関わり、涵養していきたいと思えます。

さて、本日の終業式では夏休みを「挑戦する夏休み」と「命を守る夏休み」にしてくださいと話をしました。44日間の夏休みを存分に楽しみ、挑戦し、また元気に2学期の始業式で会えることを楽しみにしています。



## 情報発信の充実を図っています

伊良林小学校のホームページの閲覧数は、4月当初は28,000ほどでしたが本日は33,500に近づいています。1学期中に5,500件ほど増えたこととなります。フォトギャラリーや各種だよりの更新をできるだけ頻繁にしたことが要因かと思いますが、今後とも、学校の様子を様々な方法で保護者の皆様にお知らせしていき、連携強化につなげていきたいと考えております。学級だよりの等もテトル配信にすることで、確実に情報を保護者の皆様にお伝えできるようになったと感じています。また、配信という形態を生かして、文面以外でも二次元コードから様々な情報にアクセスできるような工夫もし始めているところです。今後も校務DXの推進を図ることで、学校をより身近に感じていただけるよう工夫してまいります。

車いすバスケット体験  
（4年生）  
ゲスト：長崎サンライズ



<https://www.nagasaki-city.ed.jp/irabayashi-e/>

